平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月20日

上場会社名　株式会社 サッポロドラッグストアー　　上場取引所　東 札
コード番号　2786　URL　http://www.sapporo-drug.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 富山　睦浩
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 高野　徹朗　TEL 011-771-8100
四半期報告書提出予定日　平成25年9月24日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年2月16日～平成25年8月15日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	24,370	3.4	522	△8.4	519	△7.4	306	3.8
25年2月期第2四半期	23,562	7.7	570	△11.6	561	△7.6	295	△11.5

(注)包括利益　26年2月期第2四半期　307百万円　(3.9%)　25年2月期第2四半期　295百万円　(△11.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	79.57	―
25年2月期第2四半期	76.66	―

(注) 平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	21,671	4,843	22.3
25年2月期	20,022	4,626	23.1

(参考) 自己資本　26年2月期第2四半期　4,843百万円　25年2月期　4,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	―	0.00	―	70.00	70.00
26年2月期	―	0.00			
26年2月期(予想)			―	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成26年2月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年 2月期の連結業績予想(平成25年 2月16日～平成26年2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,780	4.1	1,025	△12.6	1,000	△11.2	580	0.3	150.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、[添付資料]4ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	4,002,000 株	25年2月期	4,002,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	147,300 株	25年2月期	147,300 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	3,854,700 株	25年2月期2Q	3,854,700 株

（注）平成25年８月16日付で、普通株式１株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成25年８月16日付にて、普通株式１株につき3株の割合で株式分割を行っております。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は平成25年10月15日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… １０
（５）セグメント情報等 …… １０
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… １１

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年２月16日～平成25年８月15日）におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代後の経済政策（いわゆるアベノミクス）により円安・株高が進み、日本経済は全体として景気回復に向けた動きが見受けられ、個人消費も消費マインドの改善により一部回復の兆しが現われております。

しかしながら、企業の設備投資や個人の所得は未だ低迷したままであり、先行きの景気回復については依然として不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、消費者の節約志向と小売業全体での業種・業態を超えた激しい競争など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「健康で明るい社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、その他事業を展開しており、当第２四半期連結累計期間におきましては、ドラッグストア４店舗を新たに出店する一方、経営効率化の観点からドラッグストア１店舗を閉店し、平成25年８月15日現在の店舗数は138店舗（ドラッグストア128店舗、調剤薬局10店舗）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（ドラッグストア事業）

ドラッグストア事業におきましては、お客様に選ばれる店づくりの一環として、店舗の利便性向上を図るため、ホームケアでの品揃えの拡大を積極的に行う一方、新たに営業時間の延長を14店舗で実施するとともに、お客様に満足いただけるサービスを提供するための従業員教育を継続して積極的に取り組みました。

販売面では、競合店対策としての積極的な販売促進に加え、エブリデー・セイム・ロープライスの実現を目指した定番価格の見直しや月間特売価格の拡充を行い、毎日安心してお買い物いただけることによる、新規顧客の増加とリピーターの確保に努めました。

コスト面では、ローコスト運営を推進するため、物流センターの利用促進による物流コスト及び事務コストの軽減を図る一方、当社グループが今後とも継続的に成長し続けるため、新規出店にかかわる投資を行うほか、さらなる新規出店に備えた人員の確保、従業員の長期的成長を図る研修プログラムの実施を積極的に推進いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は234億17百万円（前年同期比4.2％増）、営業利益は４億42百万円（同12.2％減）となりました。

（調剤薬局事業）

調剤薬局事業におきましては、前連結会計年度での２店舗の閉店や平成24年４月の薬価改定等の影響などにより、当第２四半期連結累計期間の売上高は８億79百万円（前年同期比13.9％減）、営業利益は54百万円（同21.9％増）となりました。

（その他）

不動産賃貸業が主たる事業である、その他事業は、当第２四半期連結累計期間の売上高は73百万円（前年同期比7.0％増）、営業利益は25百万円（同15.4％増）となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は243億70百万円（前年同期比3.4％増）、営業利益は５億22百万円（同8.4％減）、経常利益は５億19百万円（同7.4％減）、四半期純利益は３億6百万円（同3.8％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、216億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億48百万円増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が２億90百万円、商品が３億70百万円、建物及び構築物（純額）が３億94百万円、土地が２億22百万円、その他（投資その他の資産）が１億52百万円増加したことなどによります。

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、168億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億31百万円増加となりました。その主な要因は、買掛金が10億47百万円、長期借入金が２億22百万円増加したことなどによります。

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、48億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて２億17百万円増加となりました。その主な要因は、配当金の支払により89百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により３億６百万円増加したことなどによります。

（キャッシュフローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて２億90百万円増加し、12億２百万円になりました。

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の獲得額は10億87百万円であり、前第２四半期連結累計期間に比べて75百万円減少しました。その主な要因は、前第２四半期連結累計期間に比べ、仕入債務の増加額が１億98百万円増加したものの、たな卸資産の増加額が１億95百万円、売上債権の増加額が54百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出額は８億37百万円であり、前第２四半期連結累計期間に比べて３億87百万円増加しました。その主な要因は、前第２四半期連結累計期間に比べ、有形固定資産の取得による支出が４億６百万円増加したことなどによります。

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の獲得額は40百万円（前第２四半期は10億21百万円の支出）でありました。その主な要因は、前第２四半期連結累計期間に比べ、長期借入金の返済による支出が89百万円増加したものの、短期借入金の純増額が5億50百万円、長期借入による収入が６億円それぞれ増加したことなどによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月22日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年２月16日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年２月15日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年８月15日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	911,936	1,202,497
売掛金	415,468	465,160
商品	5,104,099	5,474,898
貯蔵品	13,011	18,745
繰延税金資産	192,014	192,014
その他	596,311	680,918
流動資産合計	7,232,842	8,034,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,031,516	3,426,503
土地	4,875,818	5,098,013
その他（純額）	1,324,020	1,390,254
有形固定資産合計	9,231,355	9,914,771
無形固定資産	96,471	98,362
投資その他の資産		
その他	3,489,397	3,641,914
貸倒引当金	△27,262	△17,500
投資その他の資産合計	3,462,135	3,624,414
固定資産合計	12,789,962	13,637,548
資産合計	20,022,804	21,671,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,434,200	5,481,209
短期借入金	1,450,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,999,757	1,877,268
未払法人税等	261,535	225,169
賞与引当金	199,521	207,424
ポイント引当金	97,100	105,100
その他	1,084,120	1,250,333
流動負債合計	9,526,234	10,696,504
固定負債		
長期借入金	4,564,600	4,786,675
退職給付引当金	180,611	192,679
役員退職慰労引当金	79,791	79,791
資産除去債務	154,257	180,417
その他	891,245	892,116
固定負債合計	5,870,505	6,131,679
負債合計	15,396,740	16,828,183

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年２月15日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年８月15日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,589	439,589
資本剰余金	481,788	481,788
利益剰余金	3,763,404	3,980,196
自己株式	△60,533	△60,533
株主資本合計	4,624,249	4,841,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,814	2,556
その他の包括利益累計額合計	1,814	2,556
純資産合計	4,626,064	4,843,598
負債純資産合計	20,022,804	21,671,782

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月16日 至　平成24年８月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年２月16日 至　平成25年８月15日）
売上高	23,562,396	24,370,165
売上原価	18,037,512	18,752,006
売上総利益	5,524,884	5,618,158
販売費及び一般管理費	4,954,580	5,095,920
営業利益	570,303	522,238
営業外収益		
受取利息	757	757
受取配当金	898	907
受取手数料	6,833	8,215
固定資産受贈益	10,628	21,246
その他	34,271	23,822
営業外収益合計	53,390	54,950
営業外費用		
支払利息	54,328	48,250
その他	7,952	9,022
営業外費用合計	62,280	57,273
経常利益	561,413	519,915
特別損失		
店舗閉鎖損失	20,040	5,000
火災損失	19,258	－
特別損失合計	39,298	5,000
税金等調整前四半期純利益	522,114	514,915
法人税等合計	226,597	208,180
少数株主損益調整前四半期純利益	295,516	306,735
四半期純利益	295,516	306,735

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月16日 至　平成24年８月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年２月16日 至　平成25年８月15日）
少数株主損益調整前四半期純利益	295,516	306,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	308	742
その他の包括利益合計	308	742
四半期包括利益	295,825	307,477
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,825	307,477
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月16日 至　平成24年８月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年２月16日 至　平成25年８月15日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	522,114	514,915
減価償却費	283,672	293,522
賞与引当金の増減額（△は減少）	14,552	7,903
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,317	12,068
ポイント引当金の増減額（△は減少）	7,160	8,000
受取利息及び受取配当金	△1,656	△1,665
固定資産受贈益	△10,628	△21,246
支払利息	54,328	48,250
売上債権の増減額（△は増加）	4,530	△49,691
たな卸資産の増減額（△は増加）	△180,652	△376,533
仕入債務の増減額（△は減少）	848,034	1,047,008
未払消費税等の増減額（△は減少）	△19,556	△1,480
その他	31,995	△35,482
小計	1,564,211	1,445,568
利息及び配当金の受取額	1,656	1,665
利息の支払額	△55,580	△49,963
法人税等の支払額	△347,154	△309,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,163,132	1,087,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	－	△100
有形固定資産の取得による支出	△308,694	△715,012
無形固定資産の取得による支出	△19,782	△17,295
敷金及び保証金の差入による支出	△206,388	△252,279
敷金及び保証金の回収による収入	87,935	90,283
預り保証金の受入による収入	22,056	59,500
預り保証金の返還による支出	△24,746	△2,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,619	△837,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△450,000	100,000
長期借入れによる収入	700,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,110,684	△1,200,414
配当金の支払額	△89,659	△89,793
その他	△70,673	△69,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,021,017	40,302
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△307,504	290,560
現金及び現金同等物の期首残高	1,249,143	911,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	941,639	1,202,497

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年２月16日　至　平成24年８月15日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	ドラッグストア事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,472,375	1,021,557	23,493,932	68,464	23,562,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	22,472,375	1,021,557	23,493,932	68,464	23,562,396
セグメント利益	503,546	44,809	548,356	21,947	570,303

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	548,356
「その他」の区分の利益	21,947
四半期連結損益計算書の営業利益	570,303

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年２月16日　至　平成25年８月15日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	ドラッグストア事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,417,355	879,536	24,296,891	73,273	24,370,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	23,417,355	879,536	24,296,891	73,273	24,370,165
セグメント利益	442,307	54,605	496,912	25,325	522,238

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	496,912
「その他」の区分の利益	25,325
四半期連結損益計算書の営業利益	522,238

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。